

Googleレンズが音声対応

Googleは米国現地時間10月3日、The KeywordにてGoogleレンズが音声検索に対応するようになった旨を[発表しました](#)。要は、写真や動画を撮って質問しつつ音声で質問する(今まではテキストを打つのみ)ことができるようになったというマルチサーチ機能のアップデートです。[Google検索のアップデートに関する記事](#)と併せてご覧ください。

Googleからの発表内容

[The Keywordの記事](#)を和訳してご紹介します。この音声認識に関しては、まずは英語の認識のみから機能スタートしており、英語であれば世界中で対応できるようです。

Googleレンズを使って目に見えるものについて声で質問する方法

新しい音声入力機能により、カメラを向けて質問することがより簡単になります。

[Googleレンズ](#)で音声入力を使用して、目に見えるものについて質問できるようになりました。これは、何かを指さして友人にそれについて尋ねるのと同じ方法です。この機能は、質問をしたり、Web全体から役立つ情報を検索したりしやすくする[最新のGoogle検索のアップデート](#)の1つです。

Googleレンズを使って口頭で質問をすることは、あらゆる状況で役立ちますが、外出先では特に便利です。例えば、美術館を訪れていて絵画の背景にある歴史を知りたい場面、あるいは犬の散歩中に(片手でリードを持っている状態で!)見かけたカラフルな鳥の名前を知りたい場合などです。

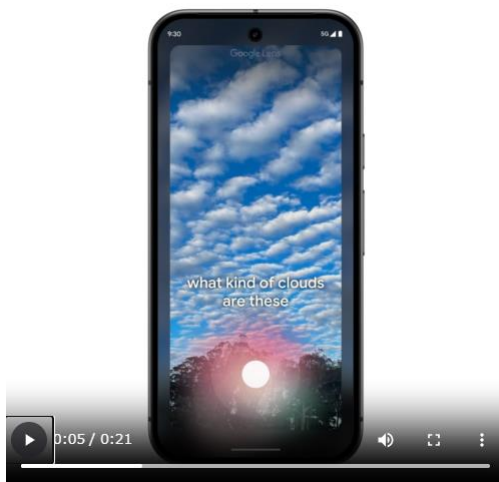
以前は、写真を撮影し手動で質問を入力する必要がありました。しかし、Googleレンズの音声入力機能を使えば、目にしたものを検索し、それについて質問することができます。つまり、身の回りの世界を探索するのに、より自然で直感的な方法なのです。使い方は次の通りです。

Googleレンズでの音声入力の使い方

1. Googleアプリ([Android](#) & [iOS](#))を開き、検索バーのカメラアイコンをタップしてGoogleレンズを開きます。
2. 知りたいものに対してカメラを向けます。
3. シャッターボタンを押し続け、「なぜこの絵を描いたのか?」や「これはどんな種類の雲?」などと質問します。
Search Labsユーザーで「AIによる概要など」の実験に参加している場合は、シャッターボタンを押したままにすると、
検索の視覚的な文脈をGoogleレンズに提供するための動 画が撮影されます。
4. 検索結果をスクロールすると、「AIによる概要」や、Web上の関連サイトへのリンクが表示されます。
5. 撮影した写真についてさらに質問をする場合は、検索結果ページの上にあるマイクのアイコンをタップするだけです。

Googleレンズが音声対応

Googleは米国現地時間10月3日、The KeywordにてGoogleレンズが音声検索に対応ようになった旨を[発表しました](#)。要は、写真や動画を撮って質問しつつ音声で質問する(今まではテキストを打つのみ)ことができるようになったというマルチサーチ機能のアップデートです。[Google検索のアップデートに関する記事](#)と併せてご覧ください。



Googleレンズで音声検索を行い必要な情報を見つけ、さらに詳しく知るためのリンクを見つけましょう。

Googleレンズの音声入力は、[Android](#)と[iOS](#)向けのGoogleアプリで英語のクエリに対して現在世界中で利用可能です。

あなたが耳にした曲を特定する新しい方法や、目にしたものを購入する方法など、その他の便利な検索機能については、[Google検索の最新アップデートに関する記事](#)をご覧ください。
引用)[The Keyword](#)より和訳

マルチサーチ機能とは写真と文字入力の検索コンボでして、人間が普通に行う「あれは何？」という所作や質問をWebで具現化したものです。今回はその写真と文字入力以外に、動画や音声加わったというわけです。

まさにAIがGoogle検索の可能性を拡大していますね。

Bingウェブマスターツールに3つの新機能

Bing ウェブマスターツールに 3 つの機能改良が加わった——推奨の導入、検索パフォーマンスの期間が最長 16 か月、Copilot の組み込み

Bing ウェブマスターツールに 3 つの機能改良が加わりました。

- 推奨の導入
- 検索パフォーマンスの期間が最長 16 か月
- Copilot の組み込み

推奨の導入

サイト改善のためのヒントを提供する「Recommendation(推奨)」機能が導入されました。

ウェブマスターツールのホームには、優先度が高い推奨が「Top Recommendations」として提示されます。



僕のブログでは次の 2 項目が優先度高の推奨として挙げられていました。

- [Index Now](#) で簡単な5分間のセットアップをすることで検索エンジンでサイトの可視性がどのように向上するかご確認ください
- [Meta descriptions on many pages are too short. Lengthen to provide better context.](#)

Bing ウェブマスターツールに3つの新機能

Bing ウェブマスターツールに 3 つの機能改良が加わった——推奨の導入、検索パフォーマンスの期間が最長 16 か月、Copilot の組み込み

サイドバーメニューの「Recommendations」からは、サイト内で検出された改善提案をすべて確認できます。



僕のブログでは次の 6 個のエラーが推奨として指摘されていました。

- Index Now が採用されていません
- ページに複数の <h1> タグが存在しています。
- Meta descriptions on many of your pages are too short.
- タグでALT 属性が定義されていません。
- HTML の評価サイズが125KBを超えるものと予想されるため、完全にキャッシュされない可能性があります。

各項目を選択すると詳細を調べられます。

alt 属性がない画像が存在するページと改善策を示しています。

Bing ウェブマスターツールに3つの新機能

Bing ウェブマスターツールに3つの機能改良が加わった——推奨の導入、検索パフォーマンスの期間が最長 16 か月、Copilot の組み込み

Recommendations > エラーの詳細

 タグには、定義された ALT 属性がありません。

重要度	エラーが発生しているページ	エラーの合計数
低	7	19

推奨される操作

 属性を使用して、次のように画像についての説明的な内容を記述します: 。

逸則として、検索エンジンは画像ファイルの内容を解析しません。サイト所有者は、 属性に入力されたテキストで、関連する情報を検索エンジンとエンドユーザーに提供することができます。代替テキストは、画像が無効になっている場合や、画像が正しく読み込まれない場合に、エンドユーザーにとって便利なものとなります。また、代替テキストはスクリーンリーダーによって利用されます。代替テキストが説明的で、画像が表すものを正確に反映しており、ページ上のコンテンツをサポートしていることを確認してください。

このエラーがあるページ

この表には、前回のスキャン時に、選択した SEO ベスト プラクティスに準拠していなかったページを 50 件まで掲載できます。

すべてダウンロード

URL ↑

https://www.suzukikenichi.com/blog/chrome-on-android-warns-against-non-https-as-well-but-very-few-would-notice-it/

https://www.suzukikenichi.com/blog/google-launches-a-new-more-results-button/

Bing ウェブマスターツールの Recommendation は、[Google Search Console に先日導入された「推奨」](#)と類似した機能です。

一部日本語に訳されていない部分があるものの、提案内容としては Bing ウェブマスターツールの方が具体的な説明と対処策が提示されており実用的に感じます。

Google Search Console は問題ではないものを問題として提示し、しかも具体的なアクションに繋がられるアドバイスを与えてくれません。

検索パフォーマンスの期間が最長 16 か月

検索パフォーマンスレポートの期間が最長で 16 か月に伸びました。

より長い期間のデータを分析できます。



Google Search Console はかなり前から 16 か月です。

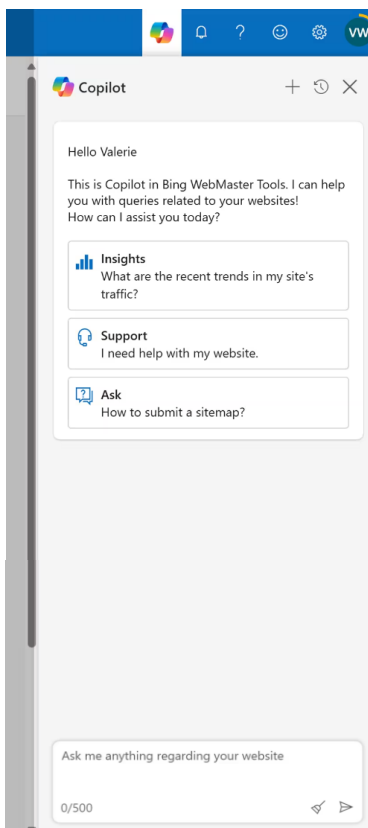
Bingウェブマスターツールに3つの新機能

Bing ウェブマスターツールに 3 つの機能改良が加わった——推奨の導入、検索パフォーマンスの期間が最長 16 か月、Copilot の組み込み

Copilot の組み込み

Bing ウェブマスターツールに Copilot が組み込まれます。

検索トラフィックの変化を分析させたり、サイトマップ送信の方法を質問できたりします。

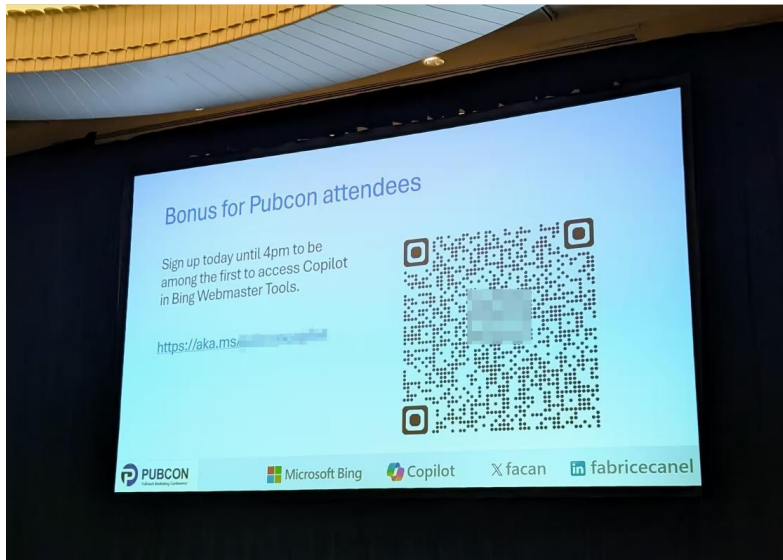


Copilot 連携はまだ導入されていません。
一部のユーザーを対象に試験公開が始まったばかりです。

[先週参加した Pubcon](#) で、Bing 検索のプリンシパルプロダクトマネージャの [Fabrice Canel](#) 氏が、この新機能について紹介し、早期テスターを募集しました。

Bingウェブマスターツールに3つの新機能

Bing ウェブマスターツールに 3 つの機能改良が加わった——推奨の導入、検索パフォーマンスの期間が最長 16 か月、Copilot の組み込み



申し込んだので、利用できるようになったらどんなふうなのかを共有します。

Bing ウェブマスターツールには、Google Search Console に劣らない便利な機能がそろっています。

残念なのは、Bing 検索のシェアが小さいため、多くのサイトでは Bing 検索の SEO にコストを割く価値が低いことでしょうか。

それでも、どの検索エンジンにも適用できる一般的な SEO 改善に役立つ機能もたくさんあります。

ときおり、Bing ウェブマスターツールも覗いてみてください。

- [Bing Webmaster Tools Introduces Recommendations](#)
- [Bing Webmaster Tools Extends Search Performance Data to 16 Months](#)
- [Announcing the Private Preview of Copilot in Bing Webmaster Tools](#)